

樽町地区

地域福祉保健計画

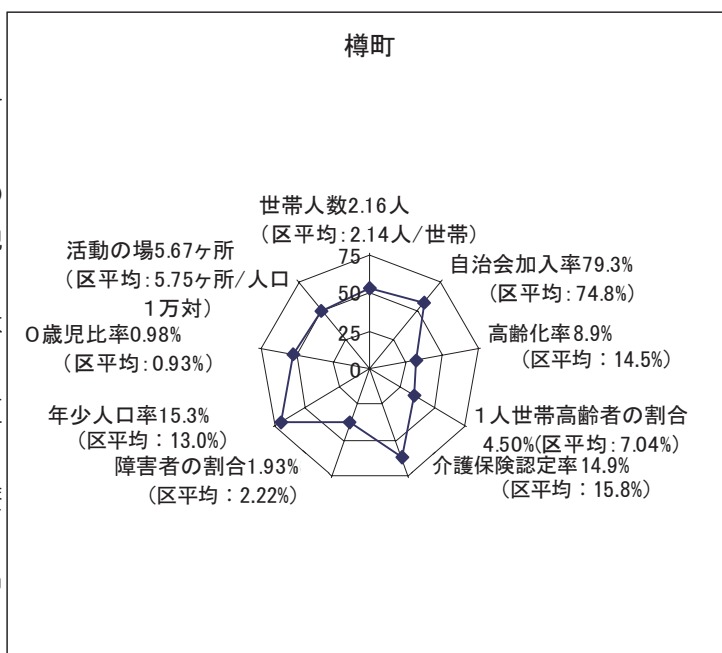
(計画期間：平成 18 年度～22 年度)

I 樽町地区の現状と課題

1 樽町地区の特徴

樽町地区は、樽町1～4丁目、師岡町の一部をその範囲としています。総人口は12,349人、老年人口よりも年少人口の方が多く、年少人口比率は15.3%で13地区の中で最も高く、高齢化率は、8.9%と最も低くなっています。樽町地区には8つの自治会町内会があります。

樽町地区は鶴見川沿いの平坦な地区で、緑にも恵まれています。綱島駅・大倉山駅まで徒歩圏内で、商店・診療所も多く利便性のよい地区です。また、近年、マンションが増加して子育て中の若い世代が増えています。



2 樽町地区の課題

① 交流

○13地区中で0歳～14歳の子どもの割合が最も多い樽町地区ですが、外遊びをする子どもはかつてのように多くはなく、子どもどうしの交流や親どうしの交流を活発にしていける必要があります。現在は、地域の行事に参加する顔ぶれも決まっているのが実情です。関心をいかに高めていくかが課題です。

○核家族が多く、子育て世代と高齢者との交流など、世代を超えた交流も少なくなっています。また、障がい児者と障がいがない人との交流もまだまだ希薄です。

○地域にはさまざまな活動を展開している組織・団体がありますが、団体間の連絡や交流のためのしっかりとしたしくみを持っているわけではありません。地域の人同士が支えあっていくために、こうした団体は大きな役割を担っています。組織・団体の活動がうまく同期した取り組みとなっていくよう、新たなしくみが求められています。

② 情報

○福祉保健に関する必要な情報が、それを必要とする市民に適切に届くよう、広報紙や行政のホームページばかりでなく、人を介した情報提供についても工夫していく必要があります。町内会に加入しないといろいろな情報が入りにくいという声もありますが、町内会への加入・未加入に関わらず必要な情報が得られる窓口が期待されています。

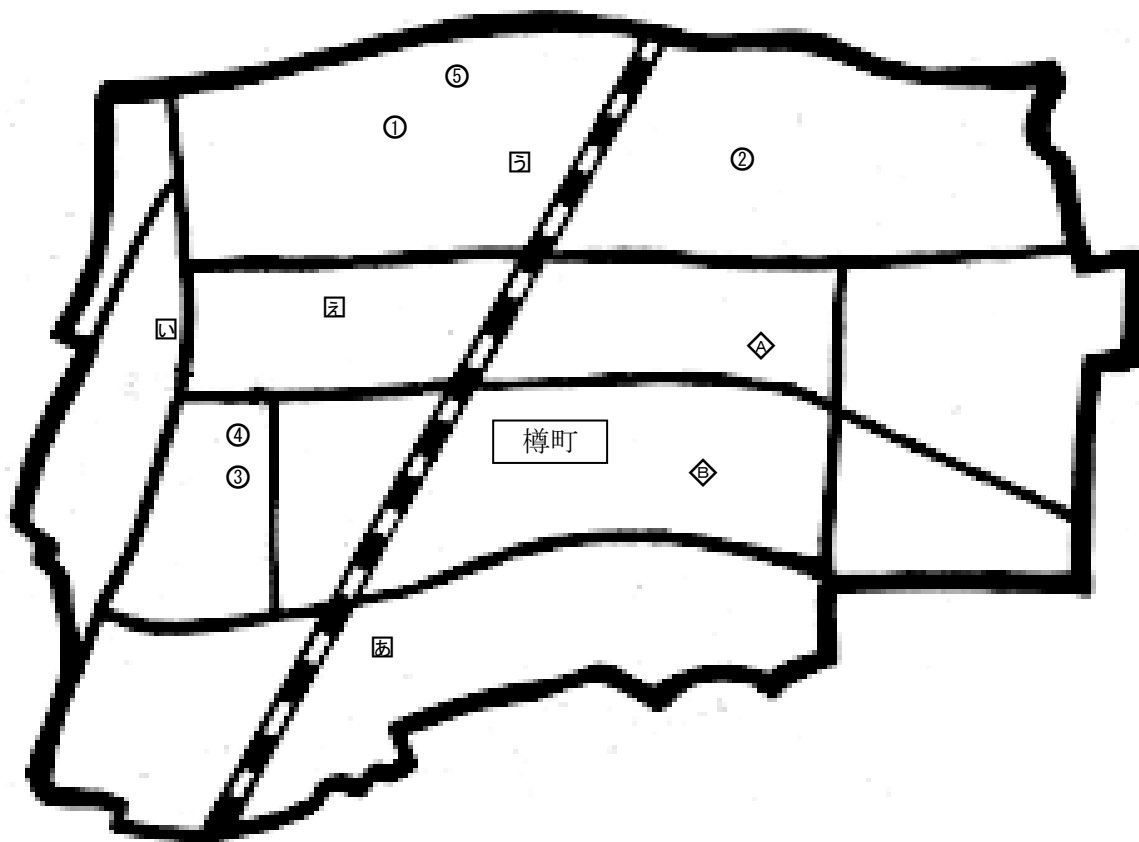
③ 場・拠点

○ふれあいや交流の場に関しては、子どもの遊び場・活動の場が少ない、中高生にも居場所がない、高齢者や障がい児・者においても交流の場がないと感じている市民がいます。

④ ボランティア・担い手

○地域の福祉保健活動があまり活発な地区ではありませんでしたが、樽町地域ケアプラザもでき、ボランティア活動などは少しずつ広がりをみせています。ただし、ボランティアの担い手の高齢化や不足の課題があります。気軽に参加できる活動があれば取り組んでみたいと考えている市民もあり、どのように情報を伝え、担い手を育成していくかがポイントとなります。

3 地域の拠点や福祉保健の取り組み状況



< 保育園・小中学校 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊦	なあな保育園	・一時保育
㊧	市立樽町中学校	・学校開放 ・妊婦疑似体験や赤ちゃんふれあい体験を年1回開催 【区主催】

< 自治会館・町内会館・集会所等 >

No.	活動場所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
㊨	樽町公民館	
㊩	親和会公民館	
㊪	琵琶畑自治会館	
㊫	樽町サンハイツ集会室	

<福祉施・公共施設・ボランティアグループなどの活動場所>

No.	活 動 場 所	活動の内容等 ・ 【活動団体名】
①	障害者グループホーム ピア大綱	・心の病のある人がグループ生活をしています
②	障害者地域作業所 SE センター樽町	・身体や知的障がいのある人が自主製品の製作作業をしています
③	樽町地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・新米パパの育児教室【区・樽町地域ケアプラザ共催】 ・子育てサロン（0才～未就園児）【ちびたる】 ・ふたごのサロン【みにみにツインズ】 ・母親クラブ 【たるママキッズ、サンハイツクラブ、たるっ子クラブなど】 ・樽町赤ちゃん会を月1回開催【区主催】 ・みんなのたまり場を月1回開催【ケアプラザ主催】 ・花しょうぶサロン（お茶、おしゃべり、歌、トランプなど）を毎月1回開催 ・ミニデイサービスふれあい広場花しょうぶ ・樽町地区地域支えあい連絡会【ケアプラザ主催】 ・すみれのびのび体操を毎月第1・第3月曜日 ・住民健診会場【区主催】
④	しょうぶ公園	・子育てサロン（0才～未就園児）【ちびたる】 （不定期）
⑤	樽町公園	・秋季グランドゴルフ大会、春季ペタンク大会を年1回開催【樽町連合町会主催】

その他の活動等	
・青少年指導員活動として、夜間のパトロールが実施されています	
・「歩こう会」「走ろう会」が毎週日曜日に活動しています	
・「ボランティアネットワークたる」では、障がい者のためのボランティア活動を展開しています	
・地域防犯パトロールとして、樽町地区全地域を3地区に分割し、3グループを組織、毎月2回3地区を同じ日に順番に防火を含めた防犯パトロールを実施しています	

Ⅱ 樽町地区の行動計画

1 樽町地区のスローガン

- (ア) 人の和（輪）がいきるまち 樽町
- (イ) 声かけと明るいあいさつのまち 樽町
- (ウ) 老若男女、障がいがあってもなくても、みんなであいさつを交わし住みよいまちをつくろう
- (エ) いろいろな接点を大切にし、みんなが知り合い、みんなの顔が見える樽町をつくっていこう
- (オ) ゆるやかにサポートしあいながら、心のふれあうまちづくりを進めよう

2 行動計画（具体的な取り組み）

(1) 一人ひとりの市民自らの取り組み

- 子どもたちに、何をするにも「やってみる」という気持ちを持てるように温かく働きかけます。
- 子どもたちや近隣の人との交流のために、登下校時間に合わせて自宅前の道を掃除するなど、あいさつ・声かけの機会をつくります。
- 広報で募集する催し物に積極的に参加するなど、仲間づくりに努めます。また、誘い合っ
て参加します。
- 高齢者、特にひとり暮らし高齢者に安心感を持ってもらえるように声かけを進めます。
- 障がい児・者と理解しあうために、まず声かけから始めます。一方、障がい児・者のいる
家庭からも地域に声かけをします。
- すでに地域福祉活動に取り組んでいる人は、相談窓口がどこにあるかを身近な人に案内します。

樽町地区地域懇談会の様子



樽町地区地域懇談会

第1回 平成17年7月24日(日)

第2回 平成17年8月21日(日)

時間 午後1時30分～3時30分

場所 樽町中学校 視聴覚室

(2) 地域での取り組みとそれを支える取り組み

① 交流

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
子どもどうしの交流や親どうしの交流の活発化のために	<地域・みんなの取り組み> ○学校等の協力を得て、小中学校の時から地域交流の重要性を教えていきます。	●				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○情報発信基地としての樽町地域ケアプラザをPRします。	●				▶
世代間交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み> ○樽町地域ケアプラザで実施している「みんなのたまり場」（月1回）への参加を広く呼びかけます。	●				▶
	○交流のための何らかのきっかけづくりに取り組みます。	●				▶
	○自治会町内会活動にかかわって、参加者を増やしていきます。		●			▶
障がい児・者への理解と交流を進めるために	<地域・みんなの取り組み> ○地域のイベントに障がい者の方を誘って、地域住民と障がい者が知り合ってもらえる機会をつくりま	●				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○地区社会福祉協議会等の団体が、樽町地域ケアプラザを使って健常者と障がい者が交流する機会をつくりま	●				▶
高齢者の閉じこもり防止と地域活動への参加を進めるために	<地域・みんなの取り組み> ○地域パトロールに高齢者の方の協力をおおぎます（月2回、土日）。	●				▶
	○地域住民の把握に努めます。	●				▶
	○「歩こう会」を重ねて開催し、参加者を増やします。また、歩く地域を広げた「歩こう会」を継続	●				▶
	○リタイヤした人が自治会町内会活動にかかわって、町会行事の参加者を増やします。		●			▶
団体相互のつながりを強化していくために	<地域・みんなの取り組み> ○子供会と地区連合町内会が協力して地域の交流事業を行えるよう組織の見直しを検討します。	●				▶
	○もちつき、盆おどりを地域に開かれた行事にします。	●				▶

② 情報・相談

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
必要な情報が簡単・確実に入手できるように	<地域・みんなの取り組み> ○自治会町内会に情報を広く知ってもらうための取り組みをします。		●			▶
	○地域の輪を作っていきます。	◀				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○団体の代表者の集まりの場を設定します。	●				▶
身近な場でいろいろな相談ができるために	<地域・みんなの取り組み> ○自治会町内会が1次的な相談窓口になります（樽町地域ケアプラザにつなぐ機能を果たします）。	●				▶
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○樽町地域ケアプラザを2次的な相談窓口にします。	●				▶

③ 場・拠点

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
子どもの遊び場・活動の場の充実のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○公園だけが遊び場ではないので、いろいろな地域の場を活用して工夫をします。	検討				→

④ ボランティア・担い手

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
ボランティアの育成のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○学校の先生がボランティアに目を向けられるように情報を地域から得て、小中学校でボランティアに接する場を作るようにしていますが、さらに進めていきます。	●	→			
	○樽町ケアプラザを情報の拠点にしていきます。 ○町内会の回覧板を活用して、情報発信します。		●	→		
気軽に参加できるようなしくみをつくるために	<地域・みんなの取り組み>					
	○自分たちで、町内会の回覧板・掲示板をスーパーにも設置し、ボランティアの補充等の情報を流していきます。	検討				→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○地区内に3か所あるスーパーにお願いし、掲示板の設置を検討します。	検討				→

⑤ 安心・安全

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
防犯のために	<地域・みんなの取り組み>					
	○地域住民の把握や子どもたちへの声かけとともに、不審火・不審物の発見のための取り組みを実施します。	検討				→
	<市民を支える取り組み（事業者・団体、行政）> ○しょうぶ公園もパトロールしてもらおうようにします。 ○公園を夜間、少し明るくし、中高生のたまり場として使います。	検討 検討				→ →

⑥ 健康づくり

今後の具体的な取り組み		H18	H19	H20	H21	H22
地域の健康づくりのために	<地域・みんなの取り組み>					
	○いきいき健康体操を引き続き行います。	継続				→